

県立高等学校改革プラン（H31.2公表）

～人口減少をはじめとする様々な社会の変化に対応した活力と
魅力ある学校・学科の在り方について～（高校審議会諮問事項）

県立高等学校改革プラン 基本プラン（2020～2026）

【基本的な方向性】

- 「地域の中の学校」として、地域の人財を地域で育成
- 新たな価値を創造する「起業家精神」を育成（高い志や意欲を持った自立した人財）

【適正配置】 5地区⇒12エリア（生徒の通学実態等に応じて見直し）
エリア毎に高校と地域の関係者の意見交換の場を設定

【適正規模】 県内全ての地域に一律で適用する適正規模の基準は設けない

実施プランⅠ期（2020～2023）

県立高等学校の魅力づくりを推進

第1部 （2020～2022）

中高一貫教育校設置

10校（併設型9校・中等1校）

第2部 （2021～2023）

類型コース設置
学科の構成変更

現在検討中

実施プランⅡ期

（2024～2026）

高等学校同士の
共同の学びを推進

県立高等学校改革プラン策定の背景

高校審議会での主な審議内容（参考）

1 人口減少

() : 対2010年比

	2010年	2020年	2030年
本県	2,970千人	2,845千人 (▲125千人)	2,638千人 (▲332千人)
本県中卒者	30,094人	26,317人 (▲3,777人)	22,160人 (▲7,934人)

2 国の動向

○骨太の方針（H30.6.15 閣議決定）

地域振興の核としての高等学校の機能強化 ⇒ **産業に直結**

○まち・ひと・しごと創生基本方針2018（H30.6.15 閣議決定）

地方創生に資する高等学校改革の推進

高校と地域の関係者の中で、**継続的に緊密な連携が必要** ⇒ **小中高連携**

3 高校教育に対する声

将来を担う若者の声 (高校審議会・アンケートでの意見聴取)

【中学生】

- ・「**多様で専門的な学科・科目**」の設置を

【高校生】

- ・「**使うこと (アウトプット)**」に**重きを**置いた授業を
- ・授業の中で友達と「意見を共有する時間」がほしい
- ・職業分野での「**実践的な実習**」を
- ・「家庭科や性教育の充実」が女性の社会進出に寄与

【大学生】

- ・「**職業に関して具体的に考える時間**」がほしい
- ・「**得意分野や職業に関する能力を伸ばす**」教育を
- ・自由に選択できる「多様な授業」を

○通学時間は、できれば30分、遠くても1時間以内

県立高等学校改革プラン 基本プラン概要

〔魅力ある学校・学科〕

○普通科

- ・ 類型コースの在り方について検討
- ・ 実社会に役立つ学び、グローバル人材の育成に向けた教育内容を検討

○職業学科

- ・ 社会の変化や地域のニーズに対応した新しい学科、教育内容を検討
- ・ 産業界と連携した実践的な学びによる専門教育の充実

○定時制課程・通信制課程

- ・ 定時制は通信制との役割分担など、在り方について検討
- ・ 通信制はスクーリング協力校の拡充及び配置の見直しなど検討

○中高一貫教育校

- ・ 新たなエリア区分のうち、原則として未設置の地域への設置を検討
- ・ 新設校においては、探究活動や国際教育、科学教育等の教育活動を検討

○教育内容

科学教育・国際教育・特別支援教育・ICTを活用した教育の在り方について検討
⇒ 充実に努めていく

実施プランⅠ期（第1部）の実施内容 中高一貫教育校の新設

県内各地域で
中等教育の多様化を推進
「地域の中の学校」
中心的役割

《2020年度開校（初年度入学生：現小学6年生）》

※○数字は学級数

対象校	改編内容	募集学級数等（予定）
太田第一 銚田第一 鹿島 竜ヶ崎第一 下館第一 SSH	併設型中高一貫教育校 ・併設型中学校① ・併設型高等学校⑥ (太田第一は⑤)	2020～2022年度選抜 ⇒中学校①, 高等学校⑥ (太田第一⑤) 2023年度選抜～ ⇒中学校①, 高等学校⑤ (太田第一④)

《2021年度開校（初年度入学生：現小学5年生）》

対象校	改編内容	募集学級数等（予定）
水戸第一 土浦第一 SGH	併設型中高一貫教育校 ・併設型中学校② ・併設型高等学校⑥	2021年度選抜 ⇒中学校②, 高等学校⑦ 2024年度選抜 ⇒中学校②, 高等学校④ ↓ 段階的に学級減
勝田	中等教育学校 ・前期課程③, 後期課程③	【中等教育学校】 2021年度選抜～③ 【高等学校】 2020年度選抜④ 2021～2023年度選抜③ 2024年度～募集停止

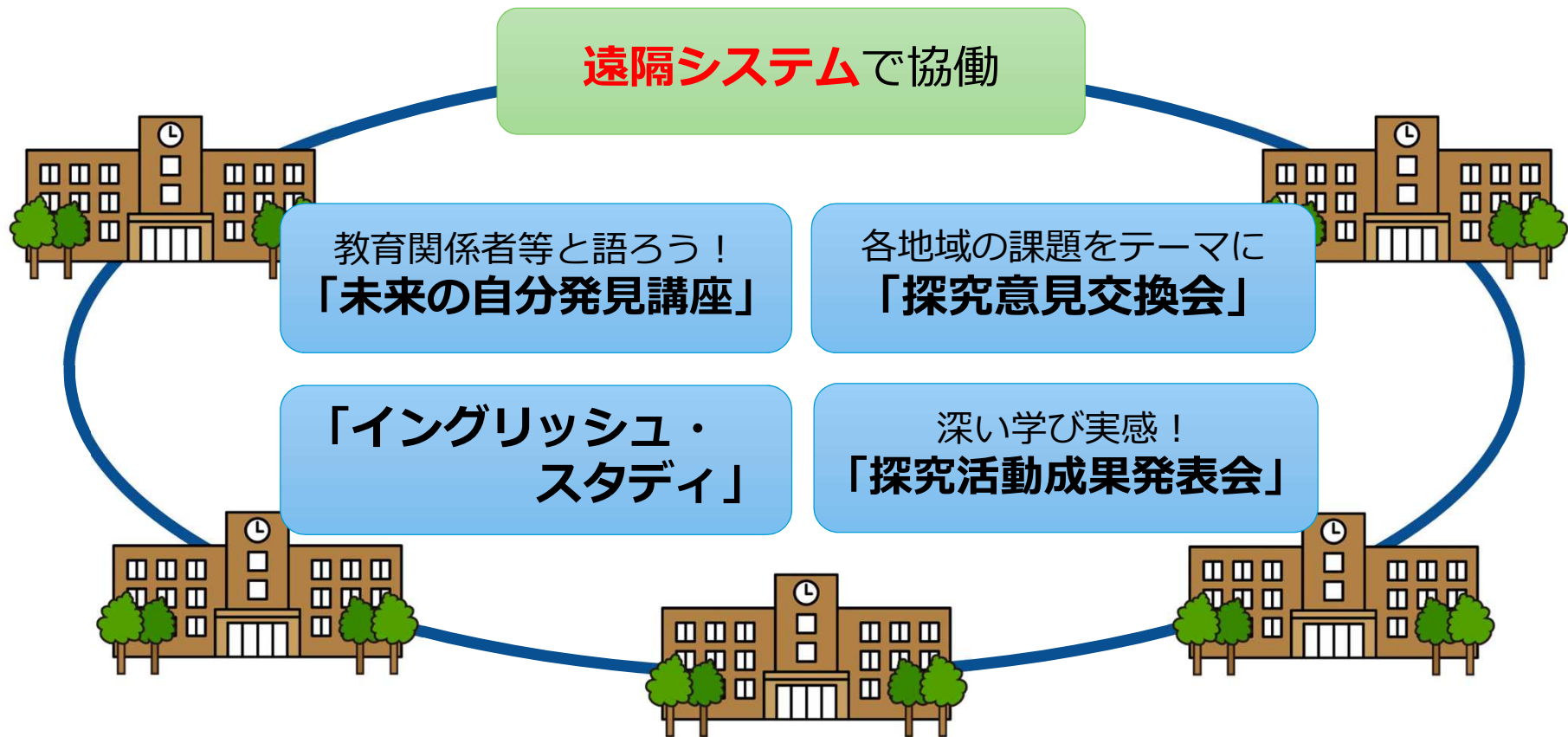
《2022年度開校（初年度入学生：現小学4年生）》

対象校	改編内容	募集学級数等（予定）
水海道第一 下妻第一	併設型中高一貫教育校 ・併設型中学校① ・併設型高等学校⑥	2022～2024年度選抜 ⇒中学校①, 高等学校⑥ 2025年度選抜～ ⇒中学校①, 高等学校⑤ 地域の小中学校 ⇒ 交流

新設中高一貫教育校の取組

輝け！私たちの未来「探究プロジェクト」

5校の生徒が事業を企画・立案，他校の生徒たちとの協働による課題解決
⇒問題発見・解決能力，人間関係を形成していく能力，豊かな人間性や社会性
※ I C T環境整備⇒遠隔システム活用



将来，地域や世界で活躍するために必要な資質や起業家精神を育成

実施プランⅠ期（第2部）

〔第1部（中高一貫教育校設置）以外の再編整備〕

- 2019年12月頃を目途に公表
- 全ての学校の魅力づくりを推進
 - ・学科の構成変更や類型コースの設置など
 - ・県教育委員会と各学校のビジョンに沿った改編

県立高等学校改革プラン

生徒一人一人の夢や希望をかなえる高校教育改革を推進



県立高等学校が「地域の中の学校」として
地域の人財を育成する役割を担う

地域の小中学校や関係機関等との連携が不可欠



地域の教育力を向上

『活力があり、県民が日本一幸せな県』（茨城県総合計画）の実現